



平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社ハブ

上場取引所 東

コード番号 3030 URL <http://www.pub-hub.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 剛

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 土屋 雅嗣

TEL 03-3526-8682

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	5,929	6.1	426	4.9	426	5.0	281	8.1
30年2月期第2四半期	5,590	12.0	448	34.5	448	34.8	306	47.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	24.98	
30年2月期第2四半期	27.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	5,731	3,968	69.2
30年2月期	5,611	3,833	68.3

(参考)自己資本 31年2月期第2四半期 3,968百万円 30年2月期 3,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		13.00	13.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				14.00	14.00

(注1)直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

(注2)平成30年2月期の期末配当金の内訳 普通配当11円、記念配当2円、合計13円

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,850	7.9	800	2.9	800	2.5	530	6.5	47.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	11,265,300 株	30年2月期	11,265,300 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	2,215 株	30年2月期	2,215 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	11,263,085 株	30年2月期2Q	11,263,146 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、賃金及び雇用環境の改善が続き緩やかな景気回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性や物価上昇等による消費意欲の不安定さなどから、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、継続的な人件費及び原材料価格の上昇に加え、消費嗜好の多様化による他業種他業態との顧客獲得競争が一層激化するなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、「中期経営計画(2016年～2018年)」の最終年度となる当事業年度におきましては、「変革せよ。変革を迫られる前に～Change before you have to.～」を年度方針に定め、従業員一人ひとりが現状の殻を打ち破り、お客様をワクワクドキドキさせ続けるアイデアを店舗から創出し、真にイノベーションが起こる風土の醸成を目指した取り組みを推進しております。また、原材料価格及び人件費の上昇が常態化した社会環境のもと業種業態を問わず多くの企業で値上げの動きがみられるなか、当第2四半期会計期間よりHUBブランドにおきまして、ワンコイン(500円)以下でお買い求めいただける高品質・低価格なメニューをドリンク・フード共に大幅に拡充することにより、さらにリーズナブルな価格で、より一層選ぶ楽しみを充実させたメニューラインナップといたしましたところ、お客様から大変ご好評をいただいております。さらに、6～7月に実施し大きな盛り上がりを見せたスポーツイベントの奏功もあり、当第2四半期累計期間の既存店の対前年比につきましては、売上高102.7%、客数101.7%となりました。

店舗につきましては、当社初となるプロ野球チームのサポート店舗(東北楽天ゴールデンイーグルスをサポート)で、仙台3店舗目となる「HUB仙台マールロード店」を出店し、当第2四半期会計期間末現在における店舗数は105店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,929百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は426百万円(前年同期比4.9%減)、経常利益は426百万円(前年同期比5.0%減)、四半期純利益は281百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて119百万円増加し、5,731百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて142百万円増加し、2,390百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて22百万円減少し、3,340百万円となりました。これは主に減価償却等に伴い有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて15百万円減少し、1,762百万円となりました。これは主に長期前受収益及び買掛金が増加したものの、未払金、未払法人税等及び借入金が増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて134百万円増加し、3,968百万円となりました。これは主に配当金の支払により146百万円減少したものの、四半期純利益281百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて96百万円増加し、1,905百万円となりました。それぞれの詳細は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、573百万円(前年同期比218百万円の減少)となりました。

主な要因は、税引前四半期純利益が425百万円及び減価償却費が221百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、257百万円(前年同期比1百万円の増加)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が230百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、219百万円(前年同期比26百万円の減少)となりました。

主な要因は、配当金の支払額が146百万円、長期借入金の返済による支出が46百万円及びリース債務の返済による支出が22百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の通期業績予想につきましては、平成30年4月13日発表の決算短信で開示した予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,808,689	1,905,000
売掛金	40,891	51,014
原材料及び貯蔵品	76,881	84,548
その他	322,042	350,387
流動資産合計	2,248,505	2,390,950
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,710,201	1,718,225
その他(純額)	458,450	423,389
有形固定資産合計	2,168,651	2,141,614
無形固定資産	39,488	33,422
投資その他の資産		
差入保証金	1,032,009	1,040,205
その他	122,875	125,098
投資その他の資産合計	1,154,884	1,165,304
固定資産合計	3,363,024	3,340,341
資産合計	5,611,529	5,731,291
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,296	299,468
1年内返済予定の長期借入金	80,096	63,096
未払金	341,339	233,945
未払法人税等	240,000	181,000
賞与引当金	145,928	152,788
その他	382,134	470,337
流動負債合計	1,436,795	1,400,635
固定負債		
長期借入金	82,712	53,664
リース債務	73,528	66,924
長期前受収益	—	54,000
長期末払金	4,000	4,000
資産除去債務	180,966	183,605
固定負債合計	341,207	362,193
負債合計	1,778,002	1,762,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,793	631,793
資本剰余金	195,393	195,393
利益剰余金	3,007,598	3,142,533
自己株式	△1,257	△1,257
株主資本合計	3,833,527	3,968,462
純資産合計	3,833,527	3,968,462
負債純資産合計	5,611,529	5,731,291

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	5,590,043	5,929,680
売上原価	1,450,894	1,569,044
売上総利益	4,139,148	4,360,636
その他の営業収入	34,036	35,200
営業総利益	4,173,185	4,395,837
販売費及び一般管理費	3,724,261	3,969,043
営業利益	448,923	426,794
営業外収益		
受取利息	17	18
雑収入	2,271	1,205
営業外収益合計	2,289	1,224
営業外費用		
支払利息	2,840	1,905
営業外費用合計	2,840	1,905
経常利益	448,371	426,112
特別損失		
固定資産除却損	2,119	666
特別損失合計	2,119	666
税引前四半期純利益	446,252	425,446
法人税、住民税及び事業税	161,969	137,487
法人税等調整額	△21,985	6,603
法人税等合計	139,983	144,091
四半期純利益	306,268	281,355

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	446,252	425,446
減価償却費	199,258	221,394
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,093	6,859
受取利息	△17	△18
支払利息	2,840	1,905
固定資産除却損	2,119	666
売上債権の増減額(△は増加)	△6,648	△10,123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,102	△7,666
仕入債務の増減額(△は減少)	63,434	52,172
未払金の増減額(△は減少)	24,952	△27,714
長期前受収益の増減額(△は減少)	—	54,000
その他	73,735	40,581
小計	813,917	757,502
利息の受取額	17	18
利息の支払額	△2,855	△1,940
法人税等の支払額	△19,130	△182,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	791,949	573,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△240,159	△230,146
無形固定資産の取得による支出	△2,497	△1,670
差入保証金の回収による収入	5,700	5,700
差入保証金の差入による支出	△17,552	△13,896
長期前払費用の取得による支出	△2,208	△17,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,718	△257,782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52,048	△46,048
リース債務の返済による支出	△29,957	△22,665
割賦債務の返済による支出	△31,888	△3,996
自己株式の取得による支出	△96	—
配当金の支払額	△131,404	△146,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,394	△219,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	289,836	96,310
現金及び現金同等物の期首残高	1,516,487	1,808,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,806,323	1,905,000

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。